

第4節 周辺地域の環境保全及び関連文化財等との整備活用に関する計画

（1）周辺地域の環境保全に関する計画

城山公園（堀之内地区）第2期整備範囲の周辺地域は、「保存活用計画」や「松山市緑の基本計画」、「松山市景観計画」に基づき、一体的な保全を図っていく。

- 松山城本丸や二之丸史跡庭園から城山公園（堀之内地区）を眺望できるよう、県の天然記念物である「松山城山樹叢」の景観や生息する貴重な生物種、防災上に影響のない程度で樹木や植栽の管理を行うための「樹木管理計画」を策定する。
- 周辺地域の住民の生活に配慮した整備を行うため、防音等の対策を行う。
- 第2期整備後に、往時の内堀（西部）の復元を検討するため、その範囲内にある、史跡二之丸庭園専用駐車場や愛媛県庁西駐車場、園路（車道）について、関係者と協議・調整を行う。
- 第2期整備以降に移転することを検討している松山市民会館等の公共施設について、関係者と協議・調整を行う。
- 将来にわたって環境保全を維持していくためには、地域住民の環境保全に対する意識の向上と協力が欠かせないため、地域住民に三之丸跡を含めた松山城跡全体の価値について知ってもらえるよう、史跡の環境保全について考える契機づくりに取り組む。



図60 眺望確保のための植生管理計画図

(2) 関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画

① 周辺の関連文化財との連携

松山市内外には、第3章第1節の「松山城跡に関連する文化財」で示したとおり、松山城跡に関連する文化財等が多数ある。松山城跡の価値をより理解してもらうためには、周辺の関連文化財と連携する必要がある。

- ▶ 「堀之内整備基本設計」では『『坂の上の雲』まちづくりの中心でもあるフィールドミュージアムの中心として、中心市街地からのアクセス動線を設定する』とあることから、既に作成された「坂の上の雲マップ」を参考に、来訪者が松山城跡に関連する文化財等を周遊できるようなマップやパンフレットの作成、誘導サインの設置などを行う。
- ▶ 城山公園（堀之内地区）を起点とした周遊ルートを提示し、松山市ホームページ等に掲載する。



図 61 回遊ネットワーク例図

出典：国土数値情報（行政区画、高速道路時系列、緊急輸送道路データ）、基盤地図情報（基本項目データ）を加工して作成

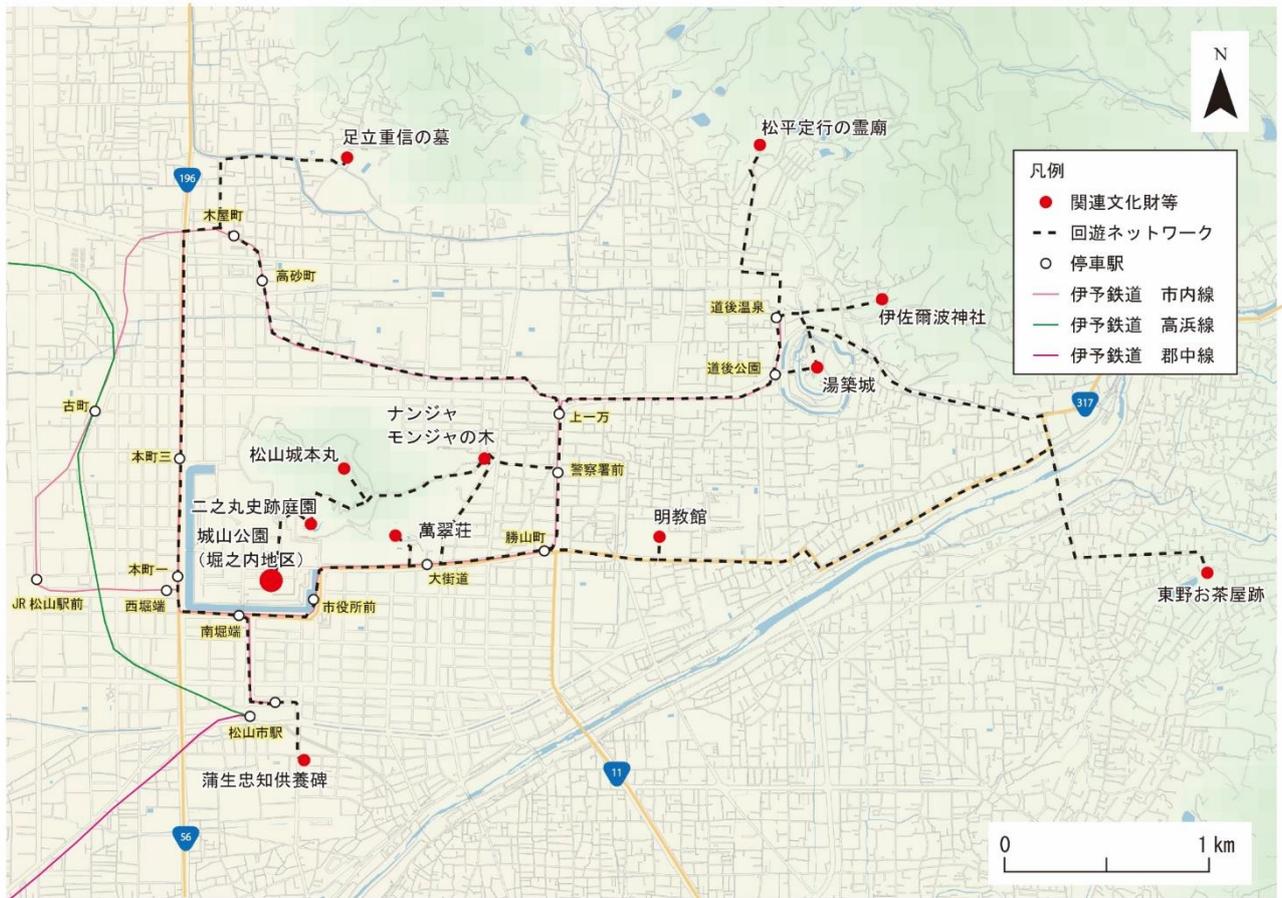


図 62 回遊ネットワーク例図（松山城・道後温泉周辺）

出典：国土数値情報（鉄道、緊急輸送道路データ）、基盤地図情報（基本項目データ）を加工して作成

② 市外の関連文化財との連携

松山城天守は国内にある現存12天守の一つである。また、安土桃山時代の気風を残す平山城である。それらの所在する他市と連携して、共同開催によるシンポジウムやフォーラム、イベントなどを城山公園（堀之内地区）で実施し、松山城跡の価値を広く周知できるようにする。